

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	安全	25年度事業・施策評価結果			責任者	総務部 担当課長(防災・危機管理担当)
施策名	防災・危機管理機能の強化	成果	コスト			
事務事業名	名古屋港管理組合業務継続計画の策定	延伸	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7813
目的	対象(誰・何を)	名古屋港管理組合の業務			事業 期間	平成25~26年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	災害時に優先して遂行する業務(非常時優先業務)を予め決めておくことで、本組合における大規模災害発生後の業務継続と名古屋港の早期復旧を図ります。				
概要	本組合防災計画の見直しに対応した業務継続計画を策定します。				根拠 法令等	
26年度の実施予定	本組合業務継続計画を策定します。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連 シート	

2 DO(実施)

26年度に実施した 内容・結果	本組合業務継続計画を策定しました。					
コスト	単位	24年度	25年度	26年度	合計(25年度~)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円		7,329	0	7,329	
人件費	千円		8,760	8,809	17,569	
合計	千円		16,089	8,809	24,898	

3 CHECK(検証)

指標名		24年度	25年度	26年度	最終目標	26	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
業務継続計画策定 までの進捗状況 (全4工程) (進行管理型)	目標		-	4		4	本組合防災計画の見直しに対応した業務継続計画の策定状況(工程) ①課題の抽出②課題への対応策の検討③素案の作成④策定	
	実績		2	4				
事業進捗状況(26年度)		順調 やや遅れ・遅れ						
関係者会議(回) (単年度管理型)	目標		-	1		-	庁内調整会議 1回	
	実績		5	1				
事業進捗状況(26年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る				目標値どおり 目標値を下回る		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	本組合防災計画の見直しにあわせ、業務継続計画を策定できました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 本組合の果たすべき責務と名古屋港の社会的・経済的な役割の大きさを鑑み、大規模災害発生後の業務の継続と早期復旧を図るため、本組合として必要性の高い事業です。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 本組合業務継続計画を策定することができたため、目標を達成できました。						
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 適切な人員で対応し、最小のコストで成果を上げました。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	27年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
完了			・平成26年10月、防災計画の見直しに併せ、本組合業務継続計画を見直しました。
課題		27年度以降の取組	